

ティーンエイジャーの HIV感染の課題



～学校のなかの性的マイノリティ～

日本におけるHIV新規感染者の約70%が男性と性交渉のある男性(Men who have sex with men=MSM)と報告されている。

厚生労働省エイズ対策研究事業のゲイ・バイ男性を対象におこなわれたインターネットを使った調査では6000人の協力者から回答が得られ、ゲイ男性の思春期で抱えるさまざまな問題が、メンタルヘルスとセクシュアルヘルス(性的健康)に与える影響が大きいことがわかっている。

本シンポジウムでは性的マイノリティのティーンエイジャーのHIV感染の課題に焦点をあてて専門家の立場から、教育・保健医療・福祉・メンタルヘルスetcの専門職をはじめ広く社会に提言を行っていただき、これからの展望を考えていきます。

※性的マイノリティとは…
性的マイノリティ(セクシュアルマイノリティ、性的少数派)、同性愛者、両性愛者、半陰陽者(医学的には「性分化疾患」)、トランスジェンダー(性別移行(性同一性障害)を含む)などが含まれると考えられている。

実施概要

開場 13:30～

第1部 講座 (14:00～15:00)

ゲイ男性の生育歴とHIV感染リスク行動

日高庸晴氏(宝塚大学看護学部准教授)

SHIPにおける
性的マイノリティのティーンエイジャーの健康支援

星野慎二氏

(かながわレインボーセンター-SHIPセンター長/横浜Cruiseネットワーク代表)

第2部 トークセッション (15:10～16:40)

学校のなかの性的マイノリティ
～当事者・研究者・予防/支援者の視点から～

[DVD上映]

10分でわかる! 思春期の恋バナ

～クラスに1人はいらぬかもしれない セクシュアル マイノリティ～

MC: 大山治彦氏(四国学院大学社会福祉学部教授)

- 高校生ゲイ当事者(予定)
- 日高庸晴氏(宝塚大学看護学部 准教授)
- 星野慎二氏(かながわレインボーセンター-SHIPセンター長/横浜Cruiseネットワーク代表)
- 新山賢氏(HaaTえひめ代表)
- モツ君(HaaTえひめ ティーンエイジャー支援プログラムスタッフ)



日時

2012年2月26日(日)
開場13:30～

会場

松山市男女共同参画センター

コムズ
(5F 大会議室)

愛媛県松山市三番町6丁目4番地20

<http://www.coms.or.jp/>

定員

144名

参加費

500円(資料代として)

同時開催

「君のままでいい.jp」展

<http://kiminomamadeii.jp/>

連絡先

haat-ehime@hotmail.co.jp

ホームページ

<http://www.haat-ehime.com/>



主催:

HaaTえひめ

共催: 松山HIV/AIDS予防啓発コミュニティ協議会

後援: 松山市、松山市教育委員会、松山市NPOサポートセンター、四国エイズプロジェクト
公益財団法人エイズ予防財団 平成23年度日本エイズストップ基金助成事業

愛媛のMSM向け性感染症予防啓発グループ

HaaTえひめ

※MSMとは…

Men who have Sex with Men
(男性と性交渉のある男性)の略。

HaaTえひめは、2006年9月にゲイ男性の有志によって発足しました。愛媛県におけるHIV・AIDSの発生動向を見ると、2000年から新規に報告されるHIV感染者・AIDS患者の数が急激に増えています。そして、そのうち約60%がゲイ・バイセクシャル男性です。性的少数者(セクシュアルマイノリティ)であるゲイ・バイセクシャル男性が、HIV感染者・AIDS患者の半数以上を占めているということは、この層の性的健康(Sexual Health)が重大な危機に直面していると言えます。

HaaTえひめは、この問題に対して行政、医療機関、専門家、活動団体などと連携を図り、効果的で持続可能な予防啓発活動を行います。また、予防啓発と同時に、HIV陽性者の方への理解と支援を広げていくことにも取り組んでいます。

活動目的

愛媛県のゲイ・バイセクシャル男性に向けて、HIVをはじめとした性感染症の予防啓発活動を行い、性的健康(Sexual Health)を改善し、ゲイライフをサポートします。

活動内容

1 networks

ネットワーク

- 松山HIV・AIDS予防啓発コミュニティ協議会
- CBO—行政懇談会

愛媛地域のHIVに関わる諸機関(行政・医療機関・専門家・活動団体など)を繋ぎ、理解と信頼関係を醸成しつつ、予防啓発活動を実施します。地域が自らの力でHIV・AIDSの問題に取り組みる解決力の向上を図ります。

※CBO=Community - Based Organization

2 giving information

2 予防啓発 (情報提供)

知識普及型

- コンドームの配布
- コミュニティペーパーの発行
- 啓発冊子の製作と配布
- ゲイ男性向け勉強会
- 講演会

共感リアリティ型

- Living Together Cafe in Ehimeの開催

※Living Together計画の協力のもと、HIV陽性者とその周囲の人の手記の朗読と音楽のイベント

相談事業

- メール相談
- 電話・面談相談
(ご希望に応じて)

ゲイライフ支援

- ゲイティーンエイジャー向けコミュニティイベント「+TALK10」

3 advocacy

アドボカシー (提言)

- 広く社会に向けたHIV予防啓発、特に性的健康の危機に直面している、個別施策層に向けての施策を、行政・社会に働きかける。
- HIV陽性者の不利益や差別、偏見をなくすように社会に働きかける。

主なプログラム

愛媛県内のHIV関係諸機関との連携／ゲイ男性の交流会／ゲイ・バイセクシャル男性のティーンエイジャーの支援交流会／WEBサイトの運営／コミュニティペーパー ファイト!の発行／各種冊子の発行／コンドームの配布／メール相談／電話相談／勉強会の開催／講演会の開催／社会や行政への働きかけ

愛媛のMSM向け性感染症予防啓発グループ

HaaTえひめ

メール: haat-ehime@hotmail.co.jp

HP: http://www.haat-ehime.com/

(愛媛県エイズ予防啓発事業受託団体・松山市NPO登録団体)

